

石原武政博士記念号の発行に際して

石原武政教授は、大阪市立大学商学部で永年にわたって研究・教育ならびに大学・学部の行政に携わってこられ、2006年4月、本学商学部の教授として迎えられました。これは、周知のように、関西学院大学が専門職大学院として経営戦略研究科を開設したことにもない、商学部の専任教員組織のさらなる充実を期待されてのご就任でした。爾来5年の間、商学部および商学研究科の研究、教育、行政に大きな貢献をしてこられました。ことに学部長室委員ならびに人事委員会における献身的なご活動は特筆に値します。

石原先生は、1965年に神戸商科大学をご卒業になり、神戸大学大学院経営学研究科商学専攻修士課程、同博士課程へと進学されました。1969年4月に大阪市立大学商学部助手に就任され、1971年4月に同講師、1975年4月には助教授、そして1984年10月に教授に就任され、2001年4月には大阪市立大学大学院経営学研究科教授となりました。その間、商学部長、大学評議員、大学附属図書館長、学術情報総合センター所長等、大阪市立大学の大学・学部の行政において数々の重責を果たしてこられました。

石原先生のご専門はマーケティングであり、研究を始められた当初はマーケティングを競争行動としてとらえ、その理論的な分析を本格的に行われました。この研究に対して、1985年3月に、大阪市立大学から商学博士の学位を授与されておられます。その後、小売業の歴史と現実の問題を地域商業の視点からとり上げ、商業論のさらなる展開として「まちづくり」の議論を精力的にされておられます。石原先生によるこれら一連の研究が学界において高く評価されていることは、数々の学会賞を受賞されておられることから明らかです。日本商業学会賞、中小企業研究奨励賞経営学部門、日本商業学会賞優秀賞、中小企業研究奨励賞経済学部門、日本商業学会賞論文賞等、枚挙に暇がありません。

石原先生は、日本商業学会において、関西部会代表理事（常任理事）、同副会長を歴任され、2002年5月には日本商業学会会長に選出されておられます。また、学界活動に止まらず、社会への貢献活動として、通商産業省中小企業政策審議会、大阪府大規模小売店舗審議会、大阪市中央卸売市場運営協議会、大阪府大規模小売店舗立地審議会等々、現場の流通政策に関しても積極的に関わってこられました。

石原先生のご退職にあたり、商学部ならびに商学研究科の研究、教育、行政に対する多大のご貢献を称え、深い感謝の意を表すために、ここに『商学論究』の記念号を刊行できることは大きな喜びです。先生のこれまでのご尽力に感謝すると同時に、今後ますますのご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます。

なお、末筆ながら、この記念号の刊行に際してご執筆いただいた先生方、また編集にご努力いただいた商学論究編集委員会の先生方に厚く御礼申し上げます。

2011年3月

商学部長 小菅正伸